

杉並区産 MaaS システム構築等業務委託受託者候補者の選定結果について

移動から派生する都内住宅都市部固有の課題解決並びに新たな移動価値を創出するための MaaS システム構築等の業務について、公募型プロポーザル方式により受託者候補者を公募したところ、2 事業者から応募がありました。

これらの事業者について、杉並区プロポーザル選定委員会条例に基づき設置した「杉並区産 MaaS システム構築等業務委託受託者候補者選定委員会（以下「選定委員会」という。）」において審査した結果、以下の事業者が受託者候補者として選定され、当該受託者候補者と契約を締結しましたので、以下の通りご報告いたします。

1 選定事業者の概要

- | | |
|----------|---------------------------|
| (1) 事業者名 | 株式会社ヴァル研究所 |
| (2) 代表者 | 代表取締役 菊池 宗史 |
| (3) 所在地 | 東京都杉並区高円寺北二丁目3番17号 |
| (4) 主な事業 | MaaS プラットフォームなどの開発・運用支援 等 |

2 選定方法

選定委員会において定めた評価基準に基づき、応募があった2 事業者について、第一次審査（書類審査）、第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）を実施した結果、全審査合計点が配点合計点の60%以上を獲得し、かつ最上位であった事業者を受託者候補者として選定した。

〈選定経過〉

令和6年	5月16日～5月23日	公募
	6月4日	第一次審査
	7月9日	第二次審査、受託者候補者選定

〈選定委員会の構成〉

職名等	氏名
東海大学 建築都市学部土木工学科 准教授	鈴木 美緒（会長）
一般財団法人 計量計画研究所 理事兼研究本部 企画戦略部長	牧村 和彦
NPO おでかけサービス杉並 理事長	秋山 糸織
杉並区都市整備部長	中辻 司
杉並区都市整備部まちづくり担当部長	野口 知希（～6月30日） 吉見 紗（7月1日～）

3 その他

11月のグリーンスローモビリティの本格運行開始にあわせ、MaaSの実証実験を開始し、12月のAI オンデマンド交通の実証開始を含め、順次各システム連携等の機能を拡張していく。

1 選定事業者

(事業者名) 株式会社ヴァル研究所

(所在地) 東京都杉並区高円寺北二丁目3番17号

2 選定結果

評価項目	評価内容	配点	A社	B社	
経営状況	経営状況は良好であるか	20	10	15	
	役員に占める女性の比率	10	10	5	
	働きやすい・働きがいのある職場環境であるか	10	10	5	
業務実績	国内他自治体等における MaaS システム構築又は実装の実績があるか	30	28	22	
業務遂行力	業務の遂行体制は妥当であるか	10	9	10	
情報セキュリティ	情報セキュリティ対策は適切であるか	10	10	10	
費用対効果	コストは妥当か	10	8	7	
第一次審査	企画提案書	企画提案書は本業務の目的に沿った、分かりやすい内容となっているか	15	13	14
		コンソーシアムを構成する事業者は適切か	15	12	15
		デジタルチケットや予約・決済機能等のユーザーインターフェイスは、多様な利用者が使いやすく・使いたくなる仕様となっているか	40	27	28
		ルート検索機能は、環境負荷の低減に資するとともに、地域特性に即し様々な交通手段に対応したもとなっているか	40	32	33
		データ収集及び管理機能により収集できるデータは、可視化や標準化等を含む十分なもとなっているか	40	22	31
		データの収集及び提供に係る個人情報の取り扱いは適切か	40	29	28
		運用及び保守は適切に行われるか	15	14	13
		スケジュールは実施可能なもとなっているか	15	13	13
		地域住民や来街者等へのマネタイズを含めたプロモーションプランは適切か	40	28	29
		AI オンデマンド交通等のシステムと MaaS は適切な連携が可能か	25	19	20
		AI オンデマンド交通実証運行に係る支援業務は適切か	25	16	23
		産官学民連携等を含め、移動需要を創出することにより、公共交通や自転車の更なる活用を促進するか	45	28	32
		将来性を含め、交通安全の確保、データ連携等の拡張性、ゼロカーボンへの可能性、近隣自治体への波及効果等、本事業実施による付加価値の創出はあるか	45	24	31
	第一次審査計		500	362	384
第二次審査	業務に対する取組	説明に説明力、論理性があるか	20	19	17
	プレゼンテーション	業務内容を理解した提案となっているか	15	15	14
		コンソーシアムを構成する事業者は適切か	15	12	15
		デジタルチケットや予約・決済機能等のユーザーインターフェイスは、多様な利用者が使いやすく・使いたくなる仕様となっているか	50	40	33
		ルート検索機能は、環境負荷の低減に資するとともに、地域特性に即し様々な交通手段に対応したもとなっているか	50	38	32
		データ収集及び管理機能により収集できるデータは、可視化や標準化等を含む十分なもとなっているか	50	31	31
		データの収集及び提供に係る個人情報の取り扱いは適切か	40	37	35
		運用及び保守は適切に行われるか	15	15	15
		スケジュールは実施可能なもとなっているか	15	14	14
		地域住民や来街者等へのマネタイズを含めたプロモーションプランは適切か	50	40	28
		AI オンデマンド交通等のシステムと MaaS は適切な連携が可能か	30	23	26
		AI オンデマンド交通実証運行に係る支援業務は適切か	30	21	25
		産官学民連携等を含め、移動需要を創出することにより、公共交通や自転車の更なる活用を促進するか	60	43	31
		将来性を含め、交通安全の確保、データ連携等の拡張性、ゼロカーボンへの可能性、近隣自治体への波及効果等、本事業実施による付加価値の創出はあるか	60	42	36
第二次審査計		500	390	352	
合計点		1000	752	736	
(審査点数/合計配点数) × 100 (%)			75.2%	73.6%	

※応募者が2事業者であったため、次点者の名称は標記しない。